

P.11-121<注釈>

赤枠内の表記を変更

型式		指定1mm単位						
Type	D	L	F	P	M並目(めねじタイプ)			
めねじタイプ	12	25~1000	2≤F≤P×4	6~10	4	5	6	8
SFIT	13	25~1000		6~11	4	5	6	8
SSFIT	15	25~1000		6~13	4	5	6	8 10
PSFIT	16	30~1200		6~14	4	5	6	8 10
PSSFIT	18	30~1200		8~16	4	5	6	8 10 12
段付めねじタイプ	18	30~1200		8~16	4	5	6	8 10 12
SFIG	20	30~1200		8~17	4	5	6	8 10 12
SSFIG	25	35~1200		8~22	4	5	6	8 10 12 16
PSFIG	30	35~1500		9~27	6	8	10	12 16 20

① ねじ有効長さを確保するため、 $L(Y) > M \times 2.5 + 4 + l + N \times 2.5 + 4$ が必要です。

■片端おねじタイプ 片端おねじ・軸径同寸タイプ

型式		指定1mm単位			
Type	D	L	F	B(おねじタイプ)	B(おねじ・軸径同寸)
おねじタイプ	*12	25~998	2≤F≤P×5	(P≤6のとき) B≤F-2	2≤B≤P×
SFIN	13	25~998		(P=8・10のとき) B≤F-3	
SSFIN	15	25~998		(P≥12のとき) B≤F-5	
PSFIN	*16	25~1198		② 軸径同寸タイプ: L寸法を優先し ので、ねじ有効 B-(Pitch×2)と なります。	
PSSFIN	18	25~1198			
おねじ・軸径同寸タイプ	*20	25~1198			
SFIQ	*25	25~1198			
SSFQ	*30	25~1498		② B≥Pitch×3	

② 全長Lは、 $N \times 3 + l \leq L$ が必要です。

<訂正用>

① [ねじ有効長さを確保するため、 $L(Y) > M \times 2.5 + 4 + l + N \times 2.5 + 4$ が必要です。]

② [全長Lは、 $N \times 3 + l \leq L$ が必要です。]